

第21回 佐倉市地域公共交通会議 議事録

日 時	平成30年5月24日（木） 午後3時から
場 所	議会棟 1階 全員協議会室
出席者	<p>○ 出席委員 橋本委員、富田委員、戸川委員（代理：川名氏）、内田委員、成田委員、坂口委員、友崎委員、宮澤委員、町田委員（代理：銅氏）山下委員、兼坂委員、利根委員、豊田委員、窪田委員、上村委員、花島委員 以上16名</p> <p>○ 事務局職員 小野寺都市計画課長、鈴木副主幹、櫻井副主幹、大野主任主事、小川主事 醍醐主事</p> <p>○ 傍 聴 人 なし</p>
配布資料	<p>資料1 委員名簿・佐倉市地域公共交通会議設置要綱</p> <p>資料2 第21回佐倉市地域公共交通会議資料</p> <p>資料3 1日あたりのバス停留所別乗降客数（H29.12～H30.4）</p> <p>資料4 説明会開催レポート</p> <p>資料5 アンケート結果報告書</p> <p>資料6 運行ルート図</p> <p>資料7 道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っていることの証明書（案）</p>
議事	・佐倉市循環バスの運行計画（運賃・ダイヤ改定など）について
内 容	
<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付・委員紹介</p> <p>3 会長・副会長の選出</p> <p>4 会議の運営について</p> <p>5 議事</p> <p>【会長】</p> <p>議事に移ります。「佐倉市循環バスの運行計画（運賃・ダイヤ改定など）」について、事務局より説明をお願い致します。</p> <p>【事務局】</p> <p>佐倉市では、昨年3月に持続可能な公共交通網の形成を目的として、佐倉市地域公共交</p>	

通網形成計画を策定いたしました。その中で、特に優先する施策として、公共交通網が整備されていない交通空白地域の解消を位置付けており、今年の1月からは志津北側ルート、畔田・下志津ルート、南部地域ルートの3つのコミュニティバスが新しく運行を開始しました。本日の議事は、新規3路線と同様に、交通空白地域対策として導入した佐倉市循環バスの運賃設定を、新規3路線と同様の考え方で、現在の100円から200円に改定することについて協議頂くため、皆様にお集まりいただきました。改定時期については、現在の運行契約が切り替わる12月1日から適用いたします。運賃の改定以外にも、ダイヤなども改定したいと考えているため、考え方などについてご説明させて頂き、最終的には資料7、こちらの証明書の内容についてご承認を頂きたいと考えております。それでは、こちらの資料2を基にご説明していきます。

ページ開いて2ページをご覧ください。まず、佐倉市循環バスの概要です。佐倉市循環バスは、京成線を境にして北側の内郷地区と南側にある市役所を運行する佐倉市で初めて運行を開始したコミュニティバスです。循環バスの運行のきっかけとしては、民間事業者の路線廃止を背景に、地域住民の移動手段や、草ぶえの丘、岩名運動公園など、公共施設へのアクセス手段を確保することを目的として、平成14年12月から1年間、右側ルート図で青線ルートの内郷地区循環の試験運行を行い、平成15年からは、ふるさと広場方面行き、右側ルート図で赤線ルートの飯野往復を追加して、本格運行を開始しました。

3ページ目をご覧ください。循環バスの利用者数の推移です。運行を開始してから順調に利用者数を伸ばしてきており、昨年度実績では約5万7千5百人の方にご利用いただきました。また、A3版の資料3はバス停留所別の乗降状況となります。昨年12月から先月までの5か月間における、バス停留所ごとの一日あたり利用者数を示しております。左側は平日、右側が土日祝日となります。黒丸の実線で着色されているところが停留所での乗降、黒丸の点線で着色されているところは自由乗降区間での乗降数を示しています。全体的に見ると、交通結節点である京成佐倉駅北口や住宅地を形成して人口が多い宮前地区で

の乗降が多くなっています。また、宮前地区では自由乗降区間での乗降がバス停留所よりも多くなっている状況が見受けられます。それと、平日と土日祝日を比較すると、ふるさと広場では土日祝日の利用が多くなり、逆に市役所については、利用が少なくなる傾向となっています。

資料2に戻りまして4ページ目をご覧ください。毎年4月から10月にかけて、草ぶえの丘やふるさと広場では、チューリップフェスタなどのイベントを定期的で開催しており、イベント期間中は、市内外から多くの観光客が循環バスを利用して訪れている状況が伺えます。

5ページ目をご覧ください。佐倉市循環バスは、先程も申し上げましたが、佐倉市地域公共交通網形成計画において、基本方針の一つである交通空白地域解消の施策であり、年間利用者約6万人の方にご利用頂いている状況となっております。地域にとって重要な移動手段となっております。また、市の産業振興施策の観点からは、ふるさと広場や草ぶえの丘の施設整備などにより、印旛沼周辺地域の活性化に取り組んでいる状況があり、佐倉市循環バスはこれら施設へのアクセス手段になっていることから、これらの状況を勘案して今後も運行を継続していく必要があると考えております。

一方、現在の運行計画について、利用状況や市内の公共交通網とのバランスなどを踏まえると解決しなければならない問題があると考えています。6ページをご覧ください。1の路線では、先程の資料3で自由乗降間での乗降が多い箇所があるのご説明いたしましたが、自由乗降区間での利用が多くなると、運行の安全性や定時性の確保ができないといった懸念があると考えています。また、2の運行系統では、土日祝日は閉庁日である市役所への運行が適切かどうかといった部分が挙げられます。3の運賃では、現行の運賃設定では、民間路線の初乗り運賃よりも低額に設定され、地域間で不均衡が生じている状況があり、これらを改善する必要があると考えました。

7ページをご覧ください。これらの改善する必要があると考える問題について、利用者

や地域の方々の意向を確認するため、3月18日と20日に説明会、4月にはバス車内と郵送配布によるアンケート調査を行いました。説明会の開催レポートは資料4、アンケート結果については資料5となります。時間の都合もございますので、次ページ以降に概要をまとめさせて頂いております。

8ページをご覧ください。説明会では、運賃に関することとして、上げ幅が大きい維持のためには仕方がないといった意見や、定期券等の導入を求める声、ルートについては、自由乗降区間の利用頻度における安全性や定時性の懸念、ダイヤについては、鉄道との接続や小学生の登下校への配慮などのご意見を頂きました。

9ページをご覧ください。アンケート結果の抜粋となります。自由乗降区間の設定についてご意見を伺ったところ、高齢者などへの配慮や利便性の視点から現状の設定のままを望む声が多い状況にありました。また、一部の意見では、バス停を増設して自由乗降区間の廃止や乗降が多いところにバス停留所を増設といったご意見もありました。

10ページをご覧ください。京成佐倉駅と市役所間の運行について伺ったところ、京成線北側地域の住民は、この区間を運休し、その分をその他区間の増便にあててほしいと考える方が多い状況にあることが分かりました。なお、右側路線図となりますが、京成佐倉駅から市役所までは、ちばグリーンバスさんが運行している物井線が運行しており、運休となった場合でも、公共交通による市役所へのアクセス手段がなくなることはないと考えています。

これらの説明会やアンケートにて頂いた御意見などを踏まえて、11ページからは12月からの運行計画の内容について、現在からの変更点を中心にご説明させて頂きます。

11ページをご覧ください。路線についてです。内郷地区内の運行ルートについては変更せず、現行のルートで運行を継続したいと考えております。理由と致しましては、左側の図面の中に、青や黄色などの着色部分がありますが、着色部分は人が居住していることを表しており、運行ルートはこれら着色部分の多くを運行していることから、内郷地区に

お住いの方々の多くが利用圏内となっていると考えているためです。また、自由乗降区間及び既存のバス停留所の概ねの位置についても、利用者や地域の方々のご意見を踏まえ、現行の設定のままとします。

一方、自由乗降区間の利用頻度が多い箇所ではバス停留所を増設しようと考えております。12ページをご覧ください。宮前の区間については、停留所利用と自由乗降区間での乗降を比較すると、自由乗降区間での利用が多いか同等程度となっています。そのため、宮前坂上と宮前二丁目の間、宮前二丁目と岩名・飯田入口の間に1箇所ずつ、計2箇所バス停留所の増設を予定しています。自由乗降区間の設定はそのままと致しますが、新規3路線と同様、こちらから乗車の際にはできる限り停留所をご利用してくださいとアナウンスをすることで、バス停留所からの乗降を促し、安全性や定時性の確保を図っていきたいと考えております。

13ページをご覧ください。運行系統についてです。こちらについても記載内容について変更はございませんが、アンケート結果において、内郷地区の約7割の方が土休日は京成佐倉駅北口から市役所間の運行は運休して、その運休分を地域内の運行に充ててほしいといったご意見を頂戴したことから、土休日の市役所行は運休と致します。そのため、土休日の運行系統は、京成佐倉駅北口を起点として、北口を終点とする①と④のみとなります。

14ページをご覧ください。運賃となります。現在の設定は、左側になりますが、小学生以上の方は100円、未就学児と障害者手帳をお持ちの方は無料の設定としています。一方で、民間路線しか利用できない地域とでは運賃の不均衡が生じている状況があります。

15ページをご覧ください。市内の公共交通網の現状と運賃設定を表す図面となっています。市内の大部分を占める青い線は、ちばグリーンバスが運行している路線となっており、運賃は170円から720円で設定されています。志津北部を運行している東洋バスは170円から200円、八幡台地区を運行するはっちまんは210円の運賃設定です。この

ように、佐倉市循環バスのみが低い運賃設定になっていることは、民間路線などを利用している市民との公平性が保たれていないと考えたことから、運賃の改定が必要だと判断しております。このため、14ページに戻りますが、大人の運賃は民間路線の初乗り運賃と同等程度とする、200円に変更します。また、障害者手帳をお持ちの方のご乗車についても、民間路線と同様の運用に変更したいと考え、障害者手帳をお持ちの方及び介助者1名までは運賃の半額とする運賃改定を行います。なお、小学生は100円、未就学児の無料は変更致しません。

ここまでが、資料7の証明書に記載すべき事項となっております。次の16ページのダイヤ改定については、報告事項となります。16ページをご覧ください。現在のダイヤは、平成20年以降改定を行っておらず、京成線との接続が合っていない現状があります。また、説明会やアンケートなどにおいても、増便や昼間の時間帯の運行を望む声を多く頂いている状況があります。そのため、利用者の利便性に配慮したダイヤへと改定を行うことを考えています。改定の視点としましては、17ページにイメージ図を配置しておりますが、京成線ダイヤとの乗継のしやすさや、土休日の京成佐倉駅から市役所間の運休に伴う土休日ダイヤの新設、遠距離通学となっている小学生の登下校への配慮など、利用状況などを踏まえての設定を予定しています。詳細なダイヤについては、今後決定する運行事業者と協議のうえ、決定していくこととなります。なお、運行時間帯については、現行の朝6時台から夜8時台での設定となる予定でございます。

18ページをご覧ください。飯野往復ルートของダイヤ設定で具体的に運用方法を変更したい箇所がございます。まず、現在2便のダイヤではふるさと広場を経由してございますが、利用状況としまして5か月間で6名のみのご利用となっております。早朝の便は、現状でもタイトなダイヤ設定となっていることを考慮し、運行間隔に余裕を持たせるため、早朝のダイヤ設定をする場合は、ふるさと広場への運行は運休にしたいと考えています。また、滝口商店前のバス停留所においては、1便で3回停車するダイヤとなっており、効率

性を考え、行き帰りの2回の停車に変更致します。

19ページをご覧ください。路線名称ですが、これまで佐倉市循環バスという名称で運用してきておりましたが、本年1月から運行を開始した新規3路線の名称と統一化を図るため、名称を変更します。佐倉市コミュニティバスを冠名称として、運行エリアが容易に判別できるよう、運行の大部分が内郷小学校の通学区域であることから、内郷ルートという名称へ切り替えたいと思います。

20ページです。今後のスケジュールですが、本日ご承認を頂き、6月から運行事業者の選定事務に移ります。事業者決定後、ダイヤ等の組み換え作業を行いまして、地域の方々には10月頃には周知を図っていきたいと考えております。その後、12月1日より新しい運行計画で運行を開始する予定となっています。

最後に、本日資料7の協議事項について、改めてご確認をお願い致します。資料6も合わせてご覧頂ければと思います。1の路線について、名称が内郷ルートとなっております。運行ルート、自由乗降区間の設定は変更ございません。既存バス停留所の概ねの位置についても変更ございませんが、宮前地区に、水色丸が2つありまして、その近辺にバス停留所の増設を予定しています。2の運行系統は、現在の設定と変更はございませんが、土休日は①と④のみの運行系統となります。3の運賃については、中学生以上を大人として、運賃200円、小学生を100円。未就学児は無料で、障害をお持ちの方及び介助者1名までは半額とする設定と致します。

事務局からのご説明は以上となります。ご協議の程、よろしくお願い致します。

【会長】

只今事務局より、「佐倉市循環バスの運行計画（運賃・ダイヤ改定など）について」の説明がありました。ご質問・ご意見等ございましたらよろしくお願い致します。

【委員】

循環バスの停留所の名前なのですが、左側に飯野町、飯野駐車場、飯野、飯野観音、そ

れから飯野っていくつかありますよね。飯野町はですね、サンセットヒルズは市の直営に昨年4月から変わりましたよね。だから運賃値上げもいいのですが、飯野町の停留所名称を「サンセットヒルズ入口」とかね。また、飯野町の下の方にある駐車場、これ近いようですけど実は崖があって全然遠いんですよね。だから、飯野駐車場はウインドミルに近い、白内障治療で有名なのがありますよね、ウインドミル。お金払ってでも作ってくれると思いますよ。と、言いますのはね、僕は移動サービスでウインドミルにしょっちゅうおばあちゃんを運ぶんですけど、皆さんタクシーで来るんですよね。だから、このウインドミルという名前だけ見たら「ああ、バスが利用できるんだ」ということで乗降が増えるのではないかと思いますし、それからせっかく市の直営になったサンセットヒルズ、行こうにもこれどこにあるのという感じですよ。この資料2では細かくサンセットヒルズと書いてあるんですけど、乗降客を誘引するためには、目的地がはっきりしていればもっと利用が増えるのではないかなと思います。例えば白翠園ってありますよね。それから岩淵薬品本社前とかね。厚生園入口とか、施設の名前の停留所がある以上、ウインドミルもサンセットヒルズもあってもいいのではないかな。それによって乗降客が増える。市の税金を1,000万以上投入しているんですから、直営しているものを使わない手はないと思います。

【会長】

事務局。

【事務局】

前向きに検討させていただきたいと思います。

【会長】

どうぞ。

【委員】

今のご意見、とても良いと思うんですよ。で、これね、プロの方にお聞きしたいと思うんですけど、なんと「飯野」が付いているのが5つもあるんですよ。だいたい停留所の名

前を覚える時ね、やっぱり覚えることが利用すること、覚えさせることも大事だと思うんですよ。何丁目、何丁目というのね、一丁目だったか三丁目だったかね、それも分からない。で飯野をこれね、今の5つの同じね、観音前だったか、飯野だけだったか、っていう、これはやっぱり是非変えるべきだと思いますけどね。バス会社の方、いかがですかね。こういう場合。停留所の名前が紛らわしい、ちゃんと頭の中に記憶にインプットされないじゃないですか。

【会長】

アドバイスありましたらお願いします。

【委員】

ちょっとバス会社の話じゃないんですけども、最近、鉄道会社各社ナンバリングをするというような形で対応したりするということもあります。まあ、そういった施策というのも取り得るのではないかなということは、個人的な、それはバス会社としての意見ではないですけども私の個人的な感想としてございます。

【委員】

ナンバリングって何ですか。

【委員】

数字を振って、京成線ですと「KSなんとか」という形で40幾つだとか、1番から順番に番号を振っていくというような形で、どちらかという、インバウンド向けというか外国人の方がどこの駅で降りたらいいのかっていうのが番号で分かるようにしているというような工夫がございます。

【委員】

サンセットヒルズはね、オートキャンプのキャンプ場もあるんだから、どこにあるか、どうやったら行ったらいいのか。土日はね、実は僕25人の団体率いて行ったんですよ。そしたら、バスは35人乗りなんで並んで、後から来る方が後ろに並んでね、というように

考えてたら、その後幼稚園生が20人ほど来たらね、運転手さんが「幼稚園生さん入って」って言われてね。うち全員乗れなかったんですね、そういうことがあって。要するにサンセットヒルズというね、市の直営なんだから。だから関連各課あると思いますから、ここはね、行きたい方が行きたい場所、どう行ったら良いかっていうことが分かるようにすれば、この1,056万も市税を投入しているんですから、それはかなり増えるんじゃないかと思います。それからふるさと広場がね、4か月間で僅か6人というのね、これ見てびっくりしたんですけど、車で来る方かなりいますよね。駐車場1,000円払っても。これをバスで行けるとなったらずいぶん変わると思うんですよ。だからその点をね、PRするというか、廃止もいいですけど、逆シーズンには増設するとかね、広報通じてやって、とにかく乗降客を増やして運賃収入を増やすということにしていただければと思います。

【会長】

はい、どうぞ。

【事務局】

今、委員から頂きましたご意見、バス停の名称、近接する施設と利用客が見込める施設の名称に切り替えたらどうだというご意見です。それにつきましても先ほど担当からあったように、こちらの方でも、それこそサンセットヒルズなんかはまさしく直営施設なので、そういったものを考えていきたいと思います。それから、委員からお話がありましたナンバリングですね。ナンバリングも合わせて出来ればという風に思います。外国人向けという訳ではないんですけど、ちっちゃい子が乗った時に「何番のバス停で降りたらいいよね」とかって、親御さんとかが言ったりするのに簡単かなっていう気もしますので、そういったのも付けて見ることもちょっと検討していきたいと。

【委員】

もう一つあるんですよ。実はね、農林部でしたっけね、市民農園がね、飯野駐車場と飯野の間にね、市民農園が今度出来るんですよ。こうほう佐倉で募集してますよね。だから

「市民農園前」だっていいじゃないですか。そうすることで、市の市民農園ですよ。その前だってことを表示すれば、もっと拡大をね、耕作放棄地どんどん、どんどん市民農園化していければいいんじゃないかと思いますよ。

【事務局】

前向きに検討させていただきます。あと、もう一つ、先ほどふるさと広場の利用6人とかっていうのですが、ふるさと広場自体の行かれる方の利用者は、とても多いです。多くて、たまたま朝の1便の通勤時間帯ですね、ふるさと広場はあんまり朝早くから行く方があまりいないみたいで、5か月で5,6人だったということなので、朝のその通勤時間帯の1本だけは運休するという形を提案させていただいております。以上です。

【会長】

はい、その他にございましたら、どうぞ。

【委員】

畔田・下志津ルートであそこにあの「ピンコロ農園」っていうね、千葉農業大学の学長さんの運営している有名なブルーベリー農園があるんですよ。そこが自由乗降区間なんですよ。臼井から行く場合は降りやすいんですけど、臼井駅へ戻る時に乗る場合はカーブなんですよ、あそこね。かなり危険で、あそこで手挙げて停まってくれるとなると、あそこみんなビュンビュン飛ばしますからね。それで、何とか1か所、お願いしてここにみんな乗る方がいますよっていうことを出来ませんか。

【委員】

市の方で基本的にはその辺りは措置をしていただくしかないのかなと思っております。

【委員】

実はバス遠足、ブルーベリー狩りというのを作って、相当な動員があると思うんですよ。

【会長】

事務局、よろしいですか。

【事務局】

ピンコロ農園につきましては、以前からご相談いただいておりますが、自由乗降区間ということではありますが、今、道路状態としてはあまり安全性が高いものではない中で、一つの目印として、ピンコロ農園の何かしらの目印のようなものを立てて、安全だと思われるところに、のぼりを立てて、そこで乗降していただくというような対策が考えられていますので、事業者と協議させていただきます。

【会長】

はい。その他、ございますでしょうか。どうぞ。

【委員】

ちょっと参考に教えていただきたいのですが、運賃の改定のところで、今まで、障害者手帳をお持ちの方は、単独で来られたら無料ということで、今度は、単独ではなくて介助者がいれば1人分って形になると思うのですが、今まで、障害者手帳をお持ちの方が単独で来られた例ってというのはいっぱいあるんですか。

【会長】

どうぞ。

【事務局】

いっぱいということではないのですが、ご利用されているということは把握しております。

【委員】

そうしましたら、今度、その方につきましては単独で来られたら普通の運賃って形になってしまふってことですか。

【事務局】

半額の運賃となります。

【委員】

介助者付きで半額になるのでは。

【事務局】

いえ、14ページなんですけれども、障害者手帳をお持ちの方は半額で、かつ、介助者が付く場合はその介助者も一名までは半額というような料金設定を考えております。

【委員】

鉄道とかでしたら、確か介助者がいれば半額、半額で、1名分の運賃というところが多いと思うんですけれど、こちらの方は単独でも半額ってことですね。

【事務局】

はい。

【委員】

わかりました。ありがとうございます。

【会長】

他にございますでしょうか。特にございませんですかね。

はい、他にないようでございますので、それでは、お諮りしたいと思います。

「佐倉市循環バスの運行計画（運賃・ダイヤ改定など）について」につきまして、事務局原案の通り、承認することについてご異議ございませんでしょうか。

【委員】

異議なし。

【会長】

異議なしと認めます。よって、「佐倉市循環バスの運行計画（運賃・ダイヤ改定など）について」は、承認されました。本日の議事はこれで終了となります。皆様ありがとうございました。

6 連絡事項

7 閉会